

# 無線パルス信号伝送システム・システムアプリケーション概略

## ■パルス信号(電力パルス・流量パルス・生産カウント等)をカウントし、カウント値を無線信号伝送機器を使用して伝送するシステムアプリケーション概略構成図

### ◇本システムアプリケーションの特徴

※本システムアプリケーションは無線パルスカウント伝送と無線中継伝送システムの機能を備えています。特徴は以下の通りです。

#### 1) パルスカウント伝送機能

入力されたパルス信号をロギング。そのカウント値を無線伝送し、親局側でI/O信号として出力します。

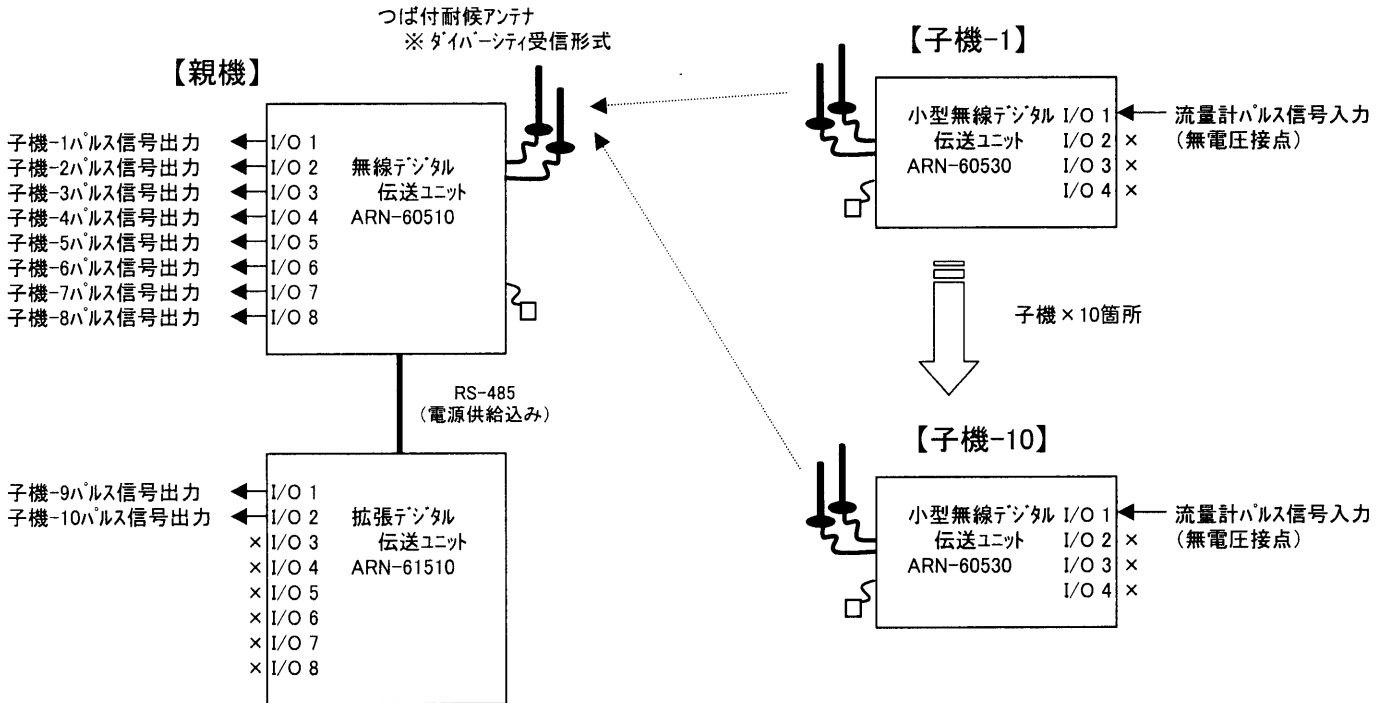
**利点** ロギングされたパルスカウント値を伝送することで、無線通信エラーが起こった場合でも、通信が復帰したときにカウント値にズレが生じないため、正確な数値を伝送することが可能です。(通信エラーの条件により) 詳しくは、『[1]パルスカウント伝送アプリケーションソフトウェア仕様概要』を参照ください。

#### 2) 無線中継伝送機能

子機設置位置が直接親機と通信不可能な場合、子機が中継機の機能を兼ねることで、パルスカウント情報を伝送することが可能です。

**利点** 子機配置位置の自由度が高く、中継専用機を別途設ける必要が無いため、システム構築のトータルコストを抑えることが出来ます。詳しくは、『[2]無線中継伝送システムアプリケーションソフトウェア仕様概要』を参照ください。

### ◇基本構成イメージ図【例】子機10箇所設置した場合



☐ 電源: DC12/24V (子機はDC9Vにて動作可能)

#### ※通信応答速度

親機と子機の通信応答速度は、  
子機1台あたり約100msec  
子機9台として100 × 10台 = 1000msec  
となります。  
パルス信号出力は、約1sec毎に行われます。  
但し、中継伝送を行うことで通信応答時間は長くなります。

#### ※ダイバーシティ受信形式について

反射波によるマルチパスフェージング (電波の打ち消しあい) に強い受信形式で、受信効率の向上を目的としています。

※無線ユニットは防塵、防滴になっておりませんので専用の収納BOXに収納してください。

※通信設定は、納入時に予め弊社にて設定を行って納入致します。

#### 【無線通信機器数】

無線デジタル信号伝送ユニット ARN-60510	× 1 台
拡張デジタル信号伝送ユニット ARN-61510	× 1 台
ユニット接続用RS-485ケーブル	× 1 本
小型無線デジタル信号伝送ユニット ARN-60530 ※ダイバーシティ受信タイプ	× 10 台
つば付耐候アンテナ (屋外設置用ケーブル1m付)	× 22 本
アプリケーションソフトウェアインストール調整費	× 1 式